

# 岡山実験動物研究会報

第14号

1997年10月

あ い さ つ	佐藤 勝紀	1
特別講演要旨		
大型ウサギの実験動物化に関する研究	松田 幸久	2
コラーゲン遺伝子改変と動物の疾患モデル	二宮 喜文	7
マスト細胞の研究に有用なミュータント動物	北村 幸彦	12
寄稿		
マウスにおける塩酸ヨヒンビンの効能について	石井 猛・大西 達哉・峯 真司	14
アルコール長期飲用(6カ月)による肝臓機能ならびに 脂肪代謝への影響に対するアルカリ性水の効用	鈴木 政美・倉林 讓	17
ウサギケージの大きさによる行動学的研究 —特に在来型FRPケージとSCANBURケージとの比較について—	倉林 讓・上山 和貴・大光 宗義	22
施設めぐり		
広島大学医学部附属動物実験施設の紹介	古川 敏紀・信清 麻子・神崎 道文	27
研究会だより		
第31回岡山実験動物研究会		32
第32回岡山実験動物研究会		34
特別講演会		34
平成8年度理事会報告		34
岡山実験動物研究会のあゆみ		36
会員名簿		37
組織・会則		40

岡山実験動物研究会